30th Anniversary

KIA 30周年記念誌

公益財団法人 北九州国際交流協会

目　次

挨拶 …… 2

北九州国際交流協会の概要 …… 3

30年のあゆみ …… 4

長期ビジョンと中期計画 …… 9

事業紹介 …… 10

資料 …… 15

外国人市民数の推移 …… 15

外国人市民の現状(国籍別、在留資格別) …… 15

外国人市民数の推移(国籍別) …… 16

外国人相談件数 …… 16

外国人相談件数の内訳(令和元年度) …… 17

日本語教室一覧 …… 18

姉妹・友好都市交流実績 1989年～ …… 19

賛助会員　（2020年３月末現在） …… 21

挨　拶

北九州国際交流協会の30年を振り返って

理事長

髙城　壽雄

北九州国際交流協会は2020年7月、設立30周年という節目を迎えることができました。これもひとえに、賛助会員、民間団体やNPO法人、ボランティアの皆さま、北九州市をはじめとする関係機関の方々のご支援とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

北九州市と周辺地域で幅広く国際交流を進めようと設立された当協会も、この30年間を振り返りますと、活動の主眼も大きく変わっています。

設立当初の10年間は、姉妹都市交流や海外からのお客様との交流、著名人を招聘した講演会などを通して市民が身近に海外を感じ、国際交流に関心を示していただくような取り組みを行ってきました。

2000年からの10年間は留学生をはじめとする外国人市民の多国籍化に対応して、外国人相談窓口や日本語教室など外国人市民の定住環境支援にシフトしていきました。

そのような中、2008年3月、北九州市外郭団体経営改革委員会の報告は当協会のあり方を根本的に見直す契機となりました。以降、北九州市からの人的・財政的支援が段階的に縮小されることから、協会事務局を再編するとともに、外国人市民の支援と市民レベルの国際交流の推進・支援という２つの柱に事業を集約し、協会の担うべき役割を明確化しました。

私はこの年４月、第４代理事長に就任いたしましたが、以来10数年、多文化共生の社会づくりを推進し、幅広い市民による国際交流活動を促進してまいりました。

とりわけ2013年3月、公益財団法人化に伴い策定した「長期ビジョン及びミッション」において、新たにグローバル人材の育成を3つ目の柱に掲げ、市民ボランティアの育成や留学生等の支援に取り組んでまいりました。

近年は、少子高齢化を背景に留学生や技能実習生が急増し、国籍も多様化しています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は広範で長期にわたることが見込まれ、国内外の社会経済に波及しつつあります。

政府は、感染症収束後のポストコロナ時代を見据えた「新たな日常」の構築を通じて、質の高い持続的な成長を目指す方針を示しています。

これからの10年、国際交流協会もその一翼を担い、「多文化共生の地域づくり」をさらに推進していきたいと考えております。

関係者の皆さまの一層のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

北九州国際交流協会の概要

設立趣旨

北九州市及び周辺地域における多文化共生の社会づくりを推進するとともに、幅広い市民による国際交流活動を促進して諸外国との相互交流と友好親善を深め、もって国際平和に寄与する開かれたまちづくりに貢献することを目的とする。

事業内容

- 多文化共生社会の推進に関する事業
- 国際交流及び国際理解に関する事業
- 関原北九州大連友好基金に関する事業
- その他法人の目的を達成するために必要な事業

設立年月

- 1990（平成２）年８月　財団法人設立登記
- 2012（平成24）年10月　公益財団法人認定

基本財産

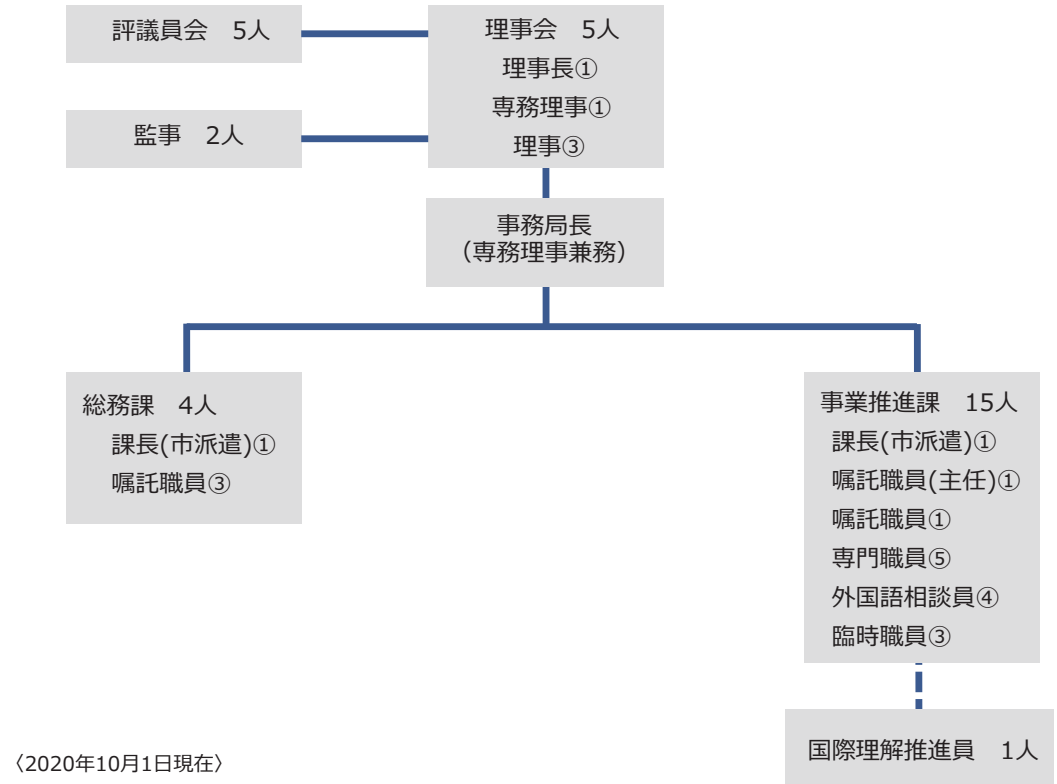
３億円（うち１億円は関原北九州大連友好基金）

代表者

2008（平成20）年４月就任　　第４代理事長　髙城　壽雄（株式会社タカギ代表取締役会長）

※歴代理事長（肩書は就任時のもの）
1990（平成２）年８月就任　鈴木　三郎（北九州八幡信用金庫理事長）
2002（平成14）年４月就任　矢野　敏行（NHK文化センター北九州支社支社長）
2006（平成18）年８月就任　三隅　佳子（(財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長）

組織（機構図）



〈2020年10月1日現在〉

30年のあゆみ

KIA設立記念レセプション

KIA設立記念講演会

タコマ語学研修ホームステイツアーの派遣

北九州市立国際村交流センター開館

1990年（平成2）
- 7月 財団法人北九州国際交流協会設立登記
- 10月 北九州国際会議場の開設に伴い、6階で業務開始
- 11月 設立記念講演会「歌で結ぶ国際交流」（講師：大庭照子氏）開催

1991年（平成3）
- 2月 外国人市民向けの情報誌「ひまわり（英語版）」創刊
  自治（現総務）大臣から地域国際化協会として認定
- 4月 協会事務局に総務係、事業係の2係を設置
  北九州国際交流団体ネットワーク（愛称：キーネット、1989年設立）事務局を協会内に設置
- 7月 「駐大連経済・文化交流事務所」を大連市に設置（1996年4月、森茂大厦に移転）
- 10月 第1回北九州市民交流訪中団（大連市ほか）の派遣～2002年まで計10回の訪問団派遣
- 12月 国際交流協会設立1周年記念講演「日本文化とヨーロッパ文化」（講師：池田満寿夫氏、500名参加）

1992年（平成4）
- 4月 関原北九州大連友好基金（1億円）を寄付により設置
  ・大連市からの留学生5名に月額2万円を支給
  ・大連市内の大学で日本語を学ぶ学生20名に月額100元を支給
  ・大連市と文化、市民交流を行った2団体に各々5万円を助成
- 7月 タコマ語学研修ホームスティツアーの派遣～2002年まで計6回市民団体派遣
- 12月 日本語で文化、生活を話し合う日本語談話室を設置（～2004年3月まで）

1993年（平成5）
- 4月 協会事務局に情報係を新設し、3係体制に強化
  外国人を対象として、第1回入国・在留・国籍手続き無料相談会を開催
- 7月 北九州市立国際村交流センター開設により事務局を移転（国際会議場に「こくらインフォメーションセンター」を開設）
  夏季青年交流団の派遣～2005年まで計6回市民団体派遣
- 10月 第1回北九州国際交流ウィーク開催～2007年まで毎年開催

1994年（平成6）
- 8月 福岡県知事より特定公益増進法人の認定
- 10月 北九州市民交流訪韓団の派遣（1996年まで毎年実施）

1995年（平成7）
- 4月 留学生等支援基金設立（2020年3月末残高：49,836千円）
  第1回外国人のための無料法律相談会開催
- 6月 日本語がまったく話せない外国人向けの日本語教室を開催
- 10月 国際交流協会設立5周年記念講演会「ピーターの世界放浪記～人生を楽しくする方程式～」（講師：ピーター・フランクル氏、1,350名参加）

KIAのホームページ開設

AIMビルに開設された
「こくらインフォメーション」

1997年（平成9）
- 4月 福岡地域留学生住宅保証（賃貸借契約の連帯保証）制度開始～2007年度まで実施
- 9月 2か国語対応のホームページ開設（日本語、英語）

1998年（平成10）
- 4月 国際交流人材バンク登録制度の創設
  ・市内在住の外国人、留学生を講師として紹介（初年度：16か国、59名登録）

1999年（平成11）
- 5月 こくらインフォメーションセンターをアジア太平洋インポートマート（AIM ビル）に移転

2000年（平成12）
- 4月 留学生里親制度の開始～留学生が半年から1年間ホームビジット
- 5月 ベトナム戦争終結25周年ベトナムスタディツアー（ホーチミン市、参加者19名）
- 10月 国際交流協会設立10周年記念講演会「デーブが見た日本～日本人の国際感覚と外国人の発想～」（講師：デーブ・スペクター氏、350名参加）

2001年（平成13）
- 3月 今後の国際交流に関する基本指針策定～北九州国際交流協会のあり方～
  協会の10年間の活動を再評価し、21世紀の国際交流ビジョンを定め
  3つの基本方針を策定
  ①相互理解の促進②情報機能の拡充③市民交流の促進
- 5月 国際ボランティア入門講座の開催（参加者：全5回、延べ112名）
  第1回外国人のためのなやみごと相談会の開催
- 8月 中学生を対象とした「インターナショナルキャンプ」を開始
  （場所：国際協力事業団九州国際センター）

2002年（平成14）
- 2月 日本語ボランティア研修の開催（「日本語教育の現場から」全4回、参加者延べ71名）
- 3月 第1回留学生フォーラムの開催～大学、留学生支援団体からなる討議・意見交換の場
- 9月 日中国交正常化30周年記念第10回北九州市民交流訪中団の派遣
- 10月 北九州市親善大使の派遣
  ～海外青年協力隊経験者などを市民講座に派遣～全4回、参加者延べ130名

2003年（平成15）
- 2月 中国語ウェブサイト「北九州あかしあネット」の公開
  ・大連市出身留学生等による留学情報
- 6月 外国籍市民北九州懇話会の設置～国際交流協会の活動に対する意見・要望の聴取
  独立行政法人国際協力機構（JICA）九州から国際協力推進員1名の配置

2004年（平成16）
- 3月 国際交流協会ボランティアグループを５つに再編
- 4月 韓国語ウェブサイト「北九州むぐんふぁネット」の公開～韓国出身留学生による留学情報
- 12月 スマトラ島沖地震・津波被害者支援のための募金活動をキーネットと連名で実施

2005年（平成17）

- 4月　協会事務局を3係制から3課制に改組
- 11月　国際協力推進リーダー養成講座の開催
  （3名の学生インターンが事業企画をサポート）
  ・カンボジアで活躍するNGOの取り組みを紹介し、カンボジアへのスタディツアーを実施
- 12月　福岡県留学生会北九州支部と共催し、留学生と地域住民・外国人との交流事業を実施

2006年（平成18）

- 4月　2001年に策定した3つの基本方針を拡充し、今後5年間の基本方針を策定
  ①多様な文化理解の促進　②国際人の育成　③市民交流の促進
  ④多国籍市民の支援　⑤情報機能の拡充
  北九州市立国際村交流センターの指定管理者に指定
  （2009年3月までの3年間）
- 7月　国際人の育成として多文化共生に関する講演会、多国籍市民によるパネルディスカッション、多文化共生先進国オーストラリアへの大学生派遣
- 10月　医療通訳ボランティア講座の開催（参加者：100名）
- 11月　情報機能の拡充として専門機関と連携し、英語圏・アジア圏への留学説明開催（参加者：31名）

多文化共生に関する講演会

2007年（平成19）

- 3月　外国人市民を対象に武道体験ツアーを実施（参加者：24名）
- 6月　地域住民と多国籍市民の交流を促進する「国際夏まつり」を開催
  （参加者：約2,000名）
  外国人市民講師による「もっとアジアを知る」講座～全4回、タイ、台湾、中国、インドネシア
- 7月　外国籍市民のための救急医療・防災講習会の開催（参加者：57名）
- 9月　災害通訳ボランティア講座を開催（参加者：15名）

「国際夏まつり」の開催

2008年（平成20）

- 3月　北九州市外郭団体経営改革委員会の報告書を踏まえ、「国際交流協会のあり方」検討委員会を設置「今後のあり方及び経営改革の取り組み」について見直しプランを策定
  ～市からの人的・財政的支援が段階的に縮小されることから、協会の担うべき役割を明確化し、2つの柱に事業をシフト～
  ①外国人市民の支援　②市民レベルの国際交流の推進・支援
- 4月　協会事務局を3課制から2課制（総務課、事業推進課）に再編
- 5月　国際交流活動を行うNPOなどの団体に対し、「多文化共生活動団体支援助成」制度を開始
- 7月　こどもの学習支援・適応支援教室「にほんごひろば」を開始
  （参加者：延べ186名）
- 9月　日本での就職を希望する留学生を対象に「留学生のための就職セミナー」を開催
- 11月　外国人相談窓口開設（日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語）

中国帰国者と地域住民との交流会

国際交流協会設立20周年記念講演会

戸畑区の日本語教室立ち上げ支援

コムシティに事務局を移転

多文化共生の人材づくり事業を実施

外国人市民対象の防災講習会

2009年（平成21）
- 5月 中国帰国者を対象に生活適応の学習会や交流会を北九州市と共催で実施（年間8回）
- 9月 日本語教育専門職配置
- 11月 行政通訳派遣制度開始
- 12月 若松区の日本語教室の立ち上げ支援（参加者：平均15名）

2010年（平成22）
- 4月 小倉北区役所外国人出張相談窓口の開設（週１回、英語、中国語、韓国語）
- 7月 小倉北区の日本語教室の立ち上げ支援（参加者：平均15名）
- 10月 国際交流協会設立20周年記念講演会とパネルディスカッション「多文化共生をめざした地域づくり」（講師：多文化共生センター大阪 代表理事　田村太郎氏、参加者81名）

2011年（平成23）
- 10月 戸畑区の日本語教室の立ち上げ支援（参加者：平均7名）
  子育て中の外国人市民を対象に「ママとパパのためのにほんご教室」を開始
- 11月 北九州市及びその周辺の外国人を対象に「日本語おしゃべり発表会」を開始（発表者：20組26名、来場者：約80名）

2012年（平成24）
- 4月 医療通訳の派遣開始（モデル事業として済生会八幡総合病院へ中国語通訳を派遣）
- 10月 小倉南区の日本語教室の立ち上げ支援（参加者：平均5名）
  福岡県知事より公益財団法人の認定

2013年（平成25）
- 3月 公益財団法人化に伴い、今後の指針となる「長期ビジョン及びミッション」を定め、当面の活動方向性として「中期計画(2013年4月～2016年3月)」
  策定ミッション達成のための3つの柱
  ①外国人市民支援事業 ②行政・民間団体連携事業 ③グローバル人材育成事業
- 4月 コムシティの再整備に伴い、事務局を移転
- 8月 ひとみらいプレイス受託事業として、多文化共生の人材づくり事業を実施
  ・海外の文化や料理の紹介、英語を通して海外の文化に触れる機会の提供など
- 10月 北九州市外郭団体経営改革の取り組み等を踏まえ、「こくらインフォメーションセンター（AIMビル）」を廃止
  ・小倉北区外国人出張相談窓口を常設化
  「外国人インフォメーションセンター」に改組

2014年（平成26）
- 3月 北九州市立国際村交流センターの指定管理者終了
  北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催（以後、年2回開催）
  （参加者：弁護士会、行政書士会、教育委員会、母子保健係、外国語相談員他）
- 10月 外国人市民への防災支援
  ・外国人市民対象の防災講習会、災害時通訳サポーターのフォローアップ、広報ツール作成
  留学生と地元企業との交流会の開催（参加者：留学生120名、企業等17社）
- 11月 タコマ市・ノーフォーク市姉妹都市提携55周年記念～九州交響楽団の演奏＆国際交流の集い

関原北九州大連友好基金支給

2015年（平成27）

4月 関原北九州大連友好基金事業の見直し：大連市大学生奨学金の対象者３名へ月額500元支給

2016年（平成28）

3月 新中期計画（2016年4月～2021年3月）における３つの柱策定
①外国人市民の社会参画を促すエンパワメント支援
②地域の民間団体と連携・協働した多文化共生の地域づくり
③担い手としてのグローバル人材の育成

4月 九州地区国際化協会連絡協議会協定による熊本地震への職員派遣（６日間、延べ３名派遣）

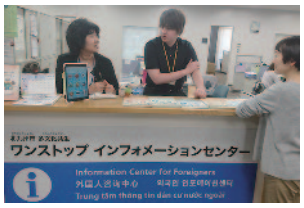
9月 中学卒業学齢以上で来日した青少年のための日本語学習支援（25回開催、延べ52名参加）

12月 相談員による電話通訳の実施～英語、中国語、韓国語、ベトナム語
多言語ママパパサポーター派遣～医療・行政・子育て支援機関、外国人住宅などへ通訳派遣

「子育て支援ブック～」の作成、配布

2017年（平成29）

3月 「外国人のママ・パパと支援者のための子育て支援ブック～妊娠、出産、育児」の作成、配布
・妊娠直後から必要となる行政手続きなどをやさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タイ語で表記し、各区役所の保健福祉課等に配布



多文化共生ワンストップインフォメーションセンター設置

2018年（平成30）

5月 留学生の地元定着に向けた助成制度の創設
①市内に居住し、市内教育機関に進学および地元企業に就職する留学生に対する奨励金
②日本語教室の運営団体に対する運営資金助成
③留学生や地域が参加する多文化共生地域づくり事業に対し助成

6月 北九州市と「大規模災害発生時における外国人の支援に関する協定」を締結
・市の要請に基づく「災害時多言語支援センター」の設置

2019年（令和元）

2月 ネパール人のための日本語スキルアップ講座（全４回、延べ28名参加）

4月 多文化共生ワンストップインフォメーションセンター設置（黒崎及び小倉北）
・社会福祉士の資格を有し、外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を配置、併せて外国語相談員を増員し、増加・複雑化する相談業務体制を強化
・タブレット端末を利用した14言語の多言語通訳システムを導入し、利便性を向上
・相談日を週4日から週5日に変更

多文化共生事例集の作成

北橋市長に寄付の目録を渡す髙城会長

6月 髙城理事長、北九州国際交流協会に5,000万円寄付

9月 外国人との共生社会の実現に向けた環境整備事業
・多文化共生事例集の作成
・ベトナム人が増加している地域での交流会（戸畑区牧山地区、小倉南区東谷地区）

日本語おしゃべり発表会（10周年）

2020年（令和2）

2月 日本語おしゃべり発表会（10周年記念大会）開催

長期ビジョンと中期計画

長期ビジョンとミッション

2013（平成25）年3月、北九州国際交流協会は公益財団法人化に伴い、2000（平成12）年に定めた基本指針「異なるものを理解し、尊重し、ともに生きる人・社会づくりを目指して」を見直し、多文化共生社会形成における中間支援組織としての役割をより明確にして、今後の指針となるべき「長期ビジョンとミッション」を定めています。

■ 長期ビジョン

多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり

■ ミッション

1．外国人市民の社会適応支援と社会参画の促進

外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適用と自立を支援します。

2．協働による多文化共生のまちづくり

行政と市民団体、企業、大学などとの協働をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行います。

3．多文化共生社会の担い手を育成

世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行います。また、国際的な視野と行動力をもつ若者を育てるとともに、留学生等外国人高度人材への情報提供を密にし、地域定着希望者への支援を行います。

中期計画

高齢化と人口減少により、労働力不足や地域活動の担い手不足が課題となる中で、外国人市民の増加に対応して、外国人市民の生活環境の充実を図り、安全で安心して暮らせるよう相談・コミュニケーション支援体制を強化し、外国人コミュニティとの連携や地域での担い手を育成します。

■ 計画期間

2016（平成28）年4月から2021（令和3）年3月までの5か年

■ 3つの柱

1．外国人市民の社会参画を促すエンパワメント支援

外国人市民の相談体制やコミュニケーション支援を強化し、併せて希望する外国人市民のエンパワメント支援を行い、社会参画をサポートします。

2．地域の民間団体と連携・協働した多文化共生の地域づくり

地域で活動する日本語教室などの民間団体との連携を強化します。

3．担い手としてのグローバル人材の育成

外国人市民を支援するための外国人キーパーソンを発掘、育成するとともに、市民センターなどを拠点として担い手育成の仕組みづくりに着手します。

事業紹介

外国人市民の社会参画を促すエンパワメント支援

■ 多文化共生ワンストップインフォメーションセンター

1．多言語による情報の提供

多言語（日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・やさしい日本語）のホームページやFacebookやインスタグラムを活用し、最新のイベント情報や生活情報、災害関連情報などを提供します。

2．外国人市民の相談窓口

（1） 一般相談

社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識や経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を配置し、八幡西区コムシティ及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語で対応します。

また、多言語通訳サービスを利用し、最大21言語で対面相談、電話相談に応じます。

【相談対応日時】月曜日～金曜日の9：30～16：00

（2） 専門家相談

協会の外国語相談員等が対応できない専門的な分野の相談について、無料の専門相談を実施します。必要に応じて通訳が同席します。

・入国・在留・ビザ手続きの相談（行政書士）　１回/月
・法律相談（弁護士）　１回/月
・心理カウンセリング（臨床心理士）　随時

3．コミュニケーション支援

（1） 行政通訳

日本語でのコミュニケーションが困難な外国人市民のために、区役所窓口や学校等への通訳派遣、オンライン通訳、電話通訳サービスを無料で行います。

【対応できる機関】北九州市内の保育所や学校、区役所など市が設置主体の施設
【対応できる内容】行政の諸手続き、相談、個人面談、家庭訪問、保健師訪問など
【対応時間】原則、月曜日～金曜日、9:30～17:00
【対応言語】最大21言語
（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、クメール語、ミャンマー語、ネパール語、マレー語、タイ語、モンゴル語、ヒンディー語、シンハラ語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ロシア語、イタリア語、ドイツ語）
※通訳ツールにより異なります。

（２） 医療通訳派遣

医療機関からの要請に基づき、有料で医療通訳者を病院等に派遣します。

【派遣できる医療機関】３協定病院、30登録医療機関

【登録言語】中国語、英語、韓国語の3言語（他の言語は要相談）

【費用】4,400円／回（4時間以内）※以降1時間につき1,100円

■ 日本語教室の運営

1．外国人子ども支援

外国につながりのある児童生徒等を対象に、日本語学習、教科学習や宿題のサポートなどを行う「放課後にほんごひろば」、「夏休みにほんごひろば」を小倉北区、八幡西区で実施します。

2．外国人生活者支援

主に子育て中の外国人市民を対象に、生活に必要な日本語や生活情報を提供するため、「ママとパパのためのにほんご教室」を小倉北区、八幡西区で実施します。

■ 外国人市民の防災支援

1．防災講習会

外国人市民を対象に、災害や緊急時の対応について基礎的な知識を学ぶ講習会を開催します。

2．災害時通訳サポーター研修

災害対応業務の通訳や翻訳を行う「災害時通訳サポーター」（登録者51名／ 2020年3月末現在）のスキルアップを図るための研修を実施します。

3．災害時多言語支援センターの運営

災害時には市からの要請に基づき「災害時多言語支援センター」を立ち上げ、外国人市民へ情報提供等を行います。

地域の民間団体と連携・協働した多文化共生の地域づくり

■ 国際交流団体との連携

1．北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネットの加盟団体（60団体／ 2020年3月末現在）相互の情報交換等の活動を事務局として支援します。

2．民間団体の活動支援

留学生等の外国人市民や地域住民が参加する国際理解や文化交流、防災支援などを目的とした多文化共生の地域づくりに対し、助成金を交付します。

【助成金額】対象事業経費の80%で、限度額は原則20万円

■ 地域日本語教室との連携

1．地域日本語教室の支援

留学生等の外国人市民に対し、無償又は低廉な料金で日本語教室を運営している教室・団体に対し、活動資金を助成します（13団体/2020年3月末現在）。

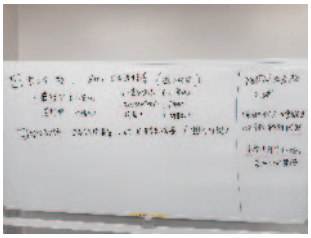
2．日本語おしゃべり発表会の開催

地域の日本語教室で学習する外国人市民に発表の機会を提供するとともに、観覧者として来場する日本人市民との相互理解を促進します。

■ 外国人支援機関とのネットワーク構築

外国人支援に関わる関係者の情報交換の場として、「北九州外国人支援関係機関連絡会議」を設置し、緊密な連携のもと外国人市民の抱える課題等について情報共有を図ります。

【構成員】福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、
北九州市関係部署、北九州国際交流協会



■ 国際理解教育の推進

1．国際理解教育講師の派遣・紹介〈福岡県、福岡市、北九州市の３協会の協働事業〉

世界の文化や習慣を体験的に学習してもらうため、外国人市民等を国際理解教育の講師とし、小・中・高等学校や市民センター等に派遣します。

2．国際理解推進員等の派遣

協会の国際理解推進員や相談員が講師となり、学校や市民センター等で自国の生活や文化等を紹介し、参加者との交流により市民の異文化理解を促進します。

■ 多文化共生啓発

1．学習会やイベント等を通した多文化共生啓発

・北九州留学生文化祭への協会＆キーネット紹介ブースの出展
・多文化共生わいわい祭りへの出展、事業協力
・市民カレッジ「もっと身近に！国際交流とボランティア」講座の開催
・外国人市民と日本人市民がゲームやおしゃべりを通して交流する「Let's Talk!」の開催

2．多文化共生の人材づくり

ひとみらいプレイス関係団体と連携し、多文化共生を担う人材を育成します。
・国際理解のスピーチイベント「英語で語る自分の国」の開催
・国際交流まつり「世界のママの味」開催
・グローバル人材育成事業「英語で遊ぼう」「英語で学ぼう」の開催

3．ホストファミリー支援

留学生とホストファミリーの年間を通した交流を支援します。

担い手としてのグローバル人材育成

■ 市民ボランティアの育成

1．市民ボランティアへの参画促進

行政通訳や医療通訳等への登録等協会事業のほか、多文化共生を目的とした講座等への参加など外国人市民に対してもボランティアとしての活動を支援します。

〈協会ボランティア登録状況／ 2020年3月末現在〉

- 行政通訳者（登録：71名）
- 医療通訳スタッフ（登録：42名）
- 多言語パパママサポーター（登録：20名）
- 災害時通訳サポーター（登録：51名）
- 専門家相談通訳ボランティア（登録：4名）
- ホストファミリーボランティア（登録：70家族）
- にほんごひろばボランティア（登録：20名）
- ママとパパのためのにほんご教室ボランティア（登録：1名、その他：1名）

■ 留学生等への支援

1．留学生への情報提供

新しく北九州市に転入してきた留学生に対して、生活に必要な情報や外国人支援情報等を提供します。また、日本での就職を希望する留学生に向けた情報提供を行います。

2．関原北九州大連友好基金

大連市で生まれ育ち、戦後、北九州市に引き揚げた故関原一夫・貞子夫妻の寄贈を原資に奨学金を交付します。

- 大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に在籍する留学生
- 大連市内の大学に在学中で日本語を学び、かつ、優秀な学力を有する中国人学生

3．留学生日本語弁論大会

母国を離れて暮らす留学生が日本での様々な体験を通じて感じたこと、考えていることを日本語で発表する場を提供することで、留学生の日本語上達と、市民の留学生を理解する一助とするため弁論大会を開催します。

4．市内就職者等への支援

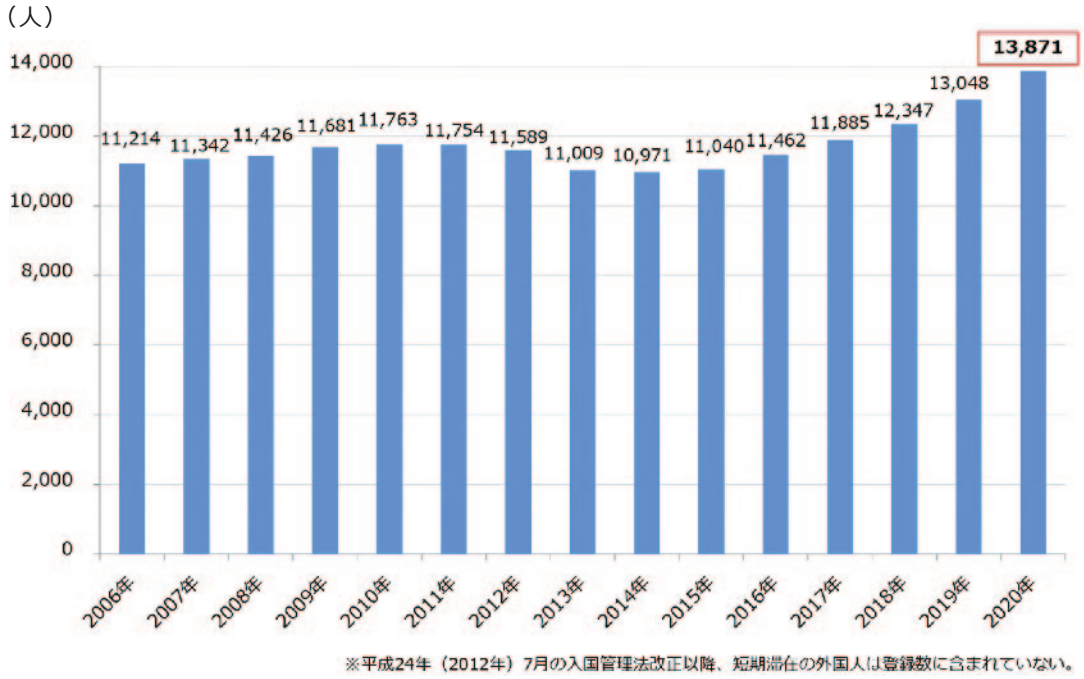
北九州市内に住民登録を有する留学生に奨励金を交付します。

- 市内の日本語学校、専門学校等を卒業し、大学等に進学する留学生
- 市内の専門学校、大学等を卒業し、市内企業に就職する留学生

資　料

外国人市民数の推移

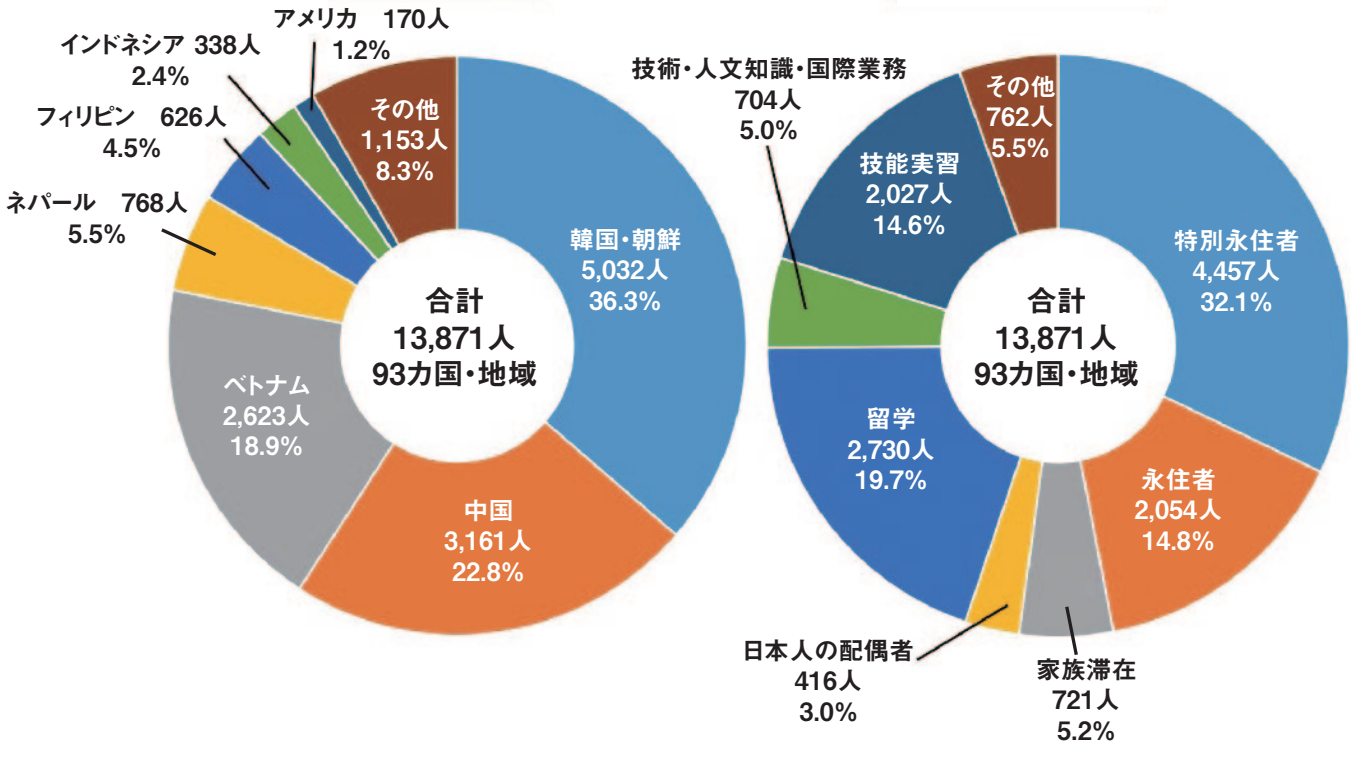
（令和2年3月末現在）



※平成24年（2012年）7月の入国管理法改正以降、短期滞在の外国人は登録数に含まれていない。

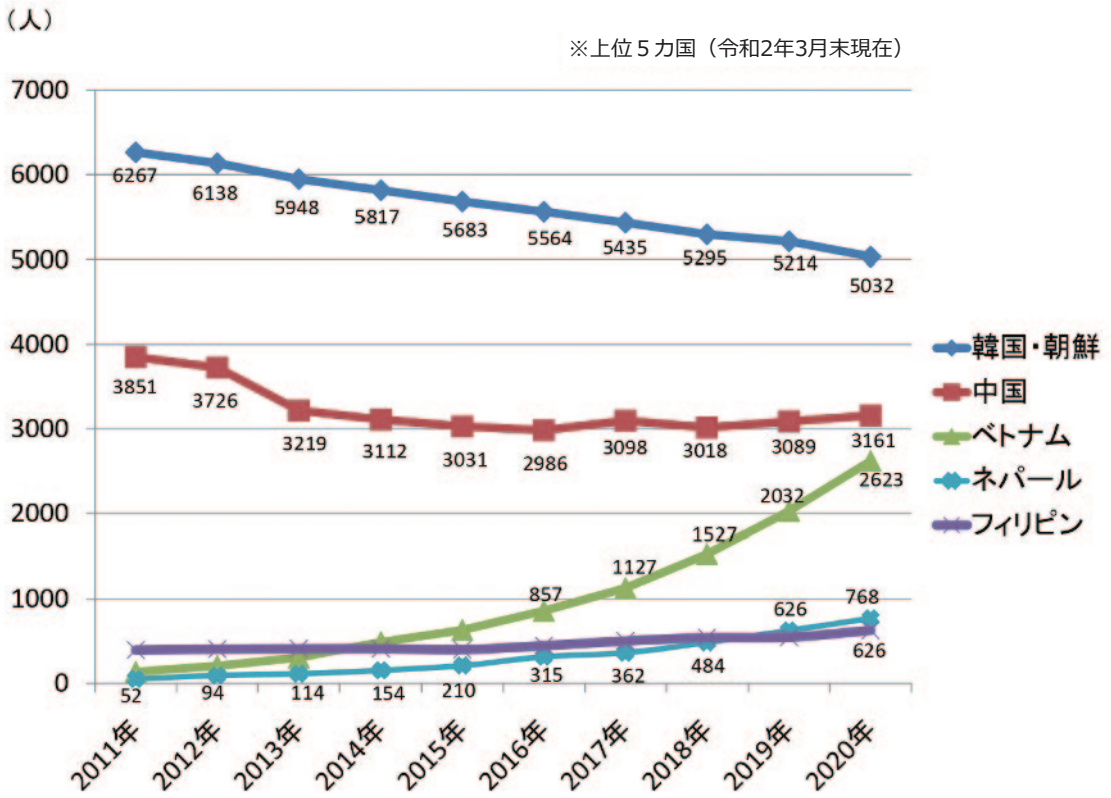
外国人市民の現状（国籍別、在留資格別）

（令和2年3月末現在）

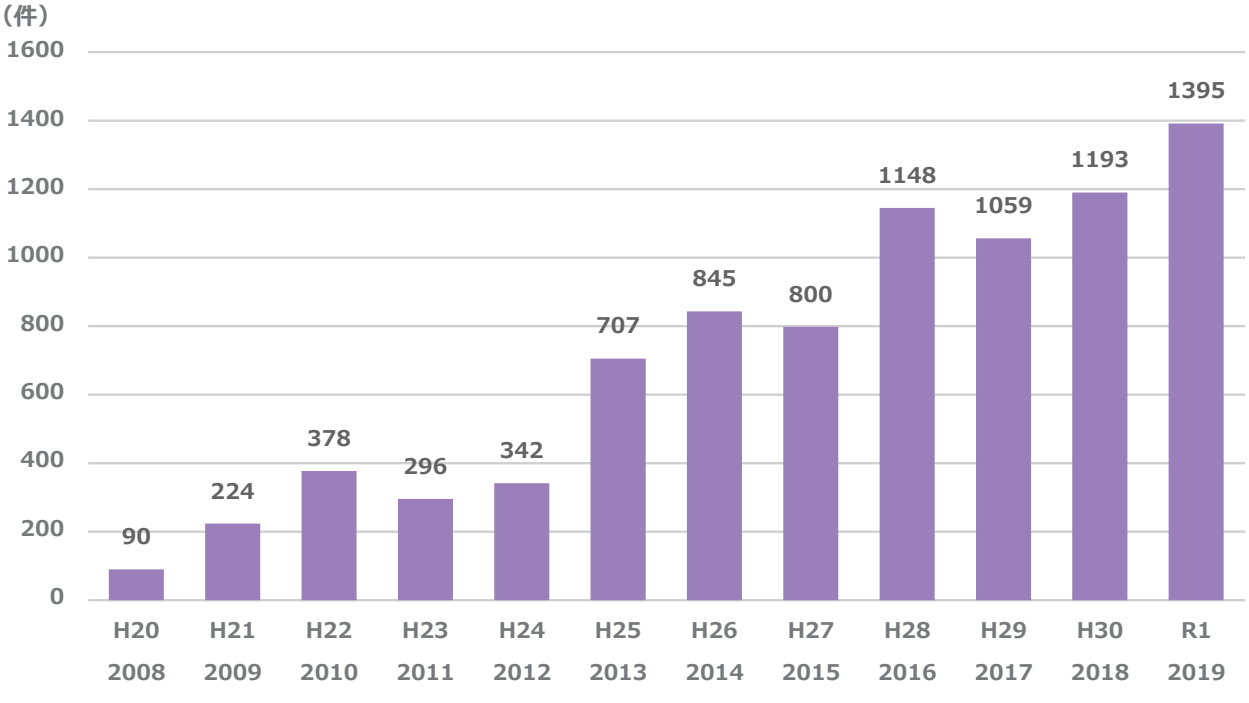


【国籍別内訳】　【在留資格別内訳】

外国人市民数の推移（国籍別）



外国人相談件数

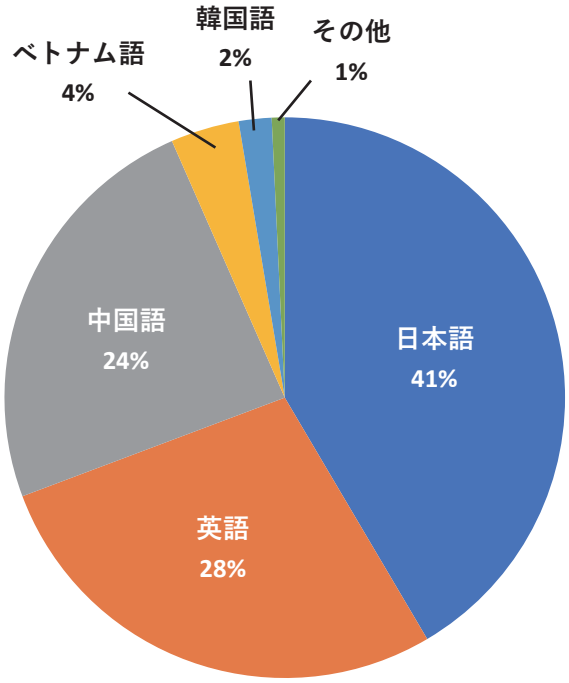


※H20（2008）年は
11月～の5か月間

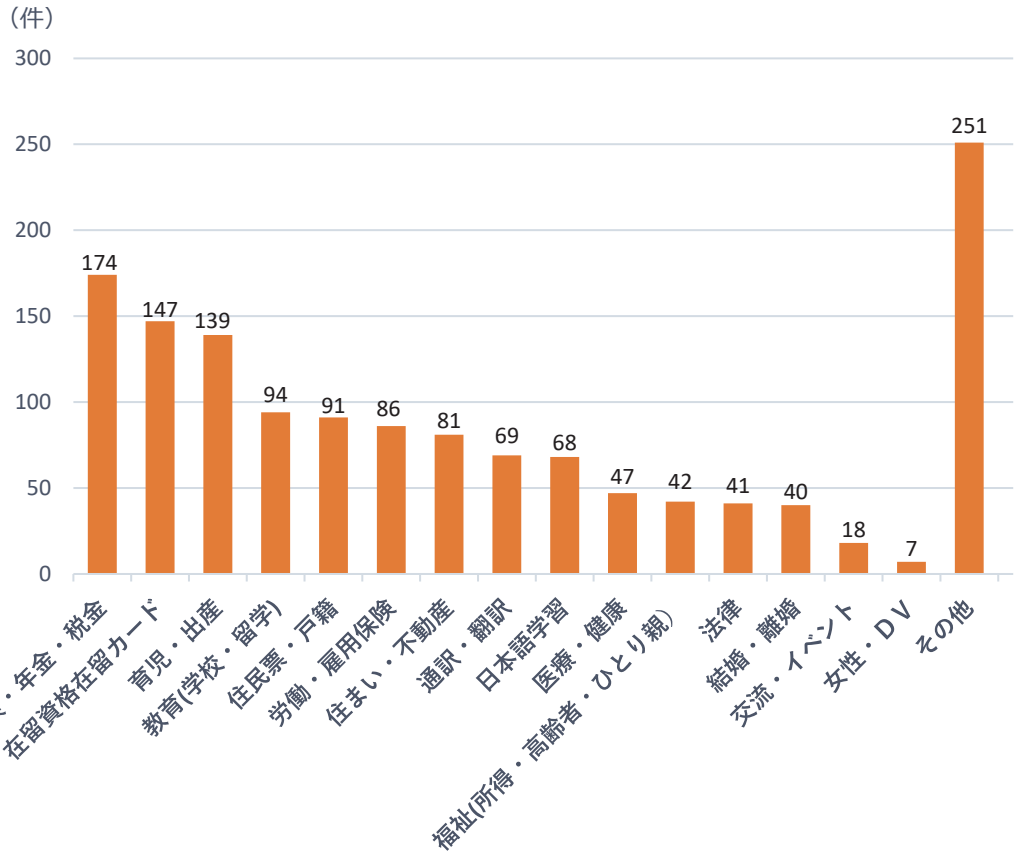
※H25（2013）年
4月協会移転

外国人相談件数の内訳（令和元年度）

■ 相談言語別



■ 相談内容別



日本語教室一覧

■ 協会主催の日本語教室

	区	名　　称	活　動　日	活　動　紹　介
1	小倉北	ママとパパのためのにほんご教室 inこくら	金曜日 10:30～12:00	生活の中で必要な日本語、すぐ使えるフレーズを勉強する。対象：学生不可・託児有
2	小倉北	にほんごひろば小倉教室	火曜日 16:00～17:30	学校の宿題を中心に、ゲームやおしゃべりで楽しく勉強する。対象：小・中・高校生等
3	八幡西	ママとパパのためのにほんご教室 inくろさき	木曜日 10:30～12:00	生活の中で必要な日本語、すぐ使えるフレーズを勉強する。対象：学生不可・託児有
4	八幡西	にほんごひろば黒崎教室	土曜日 10:00～11:30	学校の宿題を中心に、ゲームやおしゃべりで楽しく勉強する。対象：小・中・高校生等

■ 地域の日本語教室

	区	名　　称	活　動　日	活　動　紹　介
1	小倉北	とりあえず日本語	水曜日 18:30～20:00	アジア諸国を中心に、多国籍文化にも親しめる教室。対象：誰でも歓迎
2	小倉南	小倉南日本語教室KONAN JLC	土曜日 14:00～16:00	家庭的な雰囲気で、地域密着型の教室。 対象：誰でも(子ども連れの方も）歓迎
3	小倉南	GYCにほんごっちゃ☆	火曜日 19:00～20:45	北九大の学生による教室。年中行事も取り入れ、楽しく学習。対象：事前問合せ要
4	小倉南	しもそね日本語教室	土曜日 14:00～16:30	日本語能力試験の勉強を中心に、イベントも多く開催。対象：誰でも歓迎
5	戸畑	戸畑日本語教室「あやめ」	金曜日 18:00～20:00	理工系大学の留学生が多く、アカデミックな雰囲気。対象：誰でも歓迎
6	若松	若松日本語教室「かっぱ塾」	日曜日 14:00～16:00	日常会話を中心に、日本語能力試験にも対応。季節の行事も人気。対象：誰でも歓迎
7	若松	学研ボランティアの会 「日本語会話サークル」	金曜日 18:00～19:30	学習者のレベルにあった話題で、活発に会話を楽しむ。対象：事前問合せ要
8	八幡西	国際交流村にほんご教室	日曜日 11:00～13:00	学校形式で基礎から勉強する。講師は有資格者。 対象：誰でも歓迎
9	八幡西	日本語談話室	日曜日 14:00～16:00	学習者の希望に基づき、実践的な会話や文法、能力試験対策を勉強。対象:誰でも歓迎
10	八幡西	ジャスミン	火曜日 13:30～15:30	学習者の能力やニーズに合わせて、少人数で学習。日本文化紹介も有。対象：誰でも歓迎
11	八幡西	草の根国際交流「ひみこの会」	火曜日 13:30～15:30 水曜日 19:00～21:00	小グループでのおしゃべりや学習。行事体験も多く開催。対象：誰でも歓迎
12	八幡西	国際交流ボランティア「結の会」	木曜日 10:00～11:30	学習者の要望にこたえ、楽しく活動中。 対象：誰でも歓迎（幼児不可）
13	八幡西	国際交流ボランティアグループ RISING	金曜日 14:00～16:00	様々な文化の方と交流し、互いに学び合うことを目指す。対象:誰でも歓迎(幼児不可)

姉妹・友好都市交流実績 1989年～

実施年	都市名	事業名
1989	仁川	北九州スポーツ少年団派遣
1990	ノーフォーク	青少年訪問団受入れ、青年交流団派遣
	仁川	少年サッカー交流会開催
1991	タコマ	高校野球チーム受入れ
	ノーフォーク	少年少女訪問団受入れ、青年交流団派遣
	大連	第 1 回北九州市民交流訪中団派遣
1992	タコマ	語学研修ホームステイツアー派遣
	ノーフォーク	少年少女訪問団受入れ
	大連	第 2 回北九州市民交流訪中団派遣
	仁川	児童駅伝親善訪問団受入れ
1993	タコマ	高校野球チーム受入れ
	ノーフォーク	夏季青年交流団派遣
	大連	第 3 回北九州市民交流訪中団派遣
	仁川	親善少年サッカー大会実施
1994	タコマ	《姉妹都市提携 35 周年記念》生活体験ツアー派遣
	ノーフォーク	日米ユースミュージックフェスティバル参加
	大連	第 4 回北九州市民交流訪中団派遣
	仁川	北九州市民交流訪韓団派遣
1995	ノーフォーク	《姉妹都市提携 35 周年事業》ノーフォーク市訪問（市長） アメリカ発見ツアー実施、北九州市訪問（ノーフォーク市長）
	大連	国際友好記念図書館開館、第 5 回北九州市民交流訪中団派遣
	仁川	国際サッカー大会実施、北九州市民交流訪韓団派遣
1996	タコマ	野球チーム受入れ
	ノーフォーク	使節団受入れ
	大連	第 6 回北九州市民交流訪中団派遣
	仁川	北九州市民交流訪韓団派遣
1997	ノーフォーク	使節団受入れ、オールド・ドミニオン大学ホームステイ、ハート発見の旅実施
	大連	第 7 回北九州市民交流訪中団派遣
	仁川	仁川大学ホームステイ
1998	タコマ	アメリカ体験ツアー実施
	大連	第 8 回北九州市民交流訪中団派遣
	仁川	仁川大学ホームステイ
1999	タコマ	《姉妹都市提携 40 周年記念事業》訪問団（市長、議長ほか）派遣、訪問団（タコマ市長ほか）・ 高校野球チーム受入れ
	ノーフォーク	《姉妹都市提携 40 周年記念事業》訪問団（市長、議長ほか）派遣、訪問団（ノーフォーク市書記長ほか） 受入れ、日米ユースミュージックフェスティバル参加 マグネットスクールホームステイ、オールド・ドミニオン大学ホームステイ、ハート発見の旅実施
	大連	《友好都市提携 20 周年》大連クルーズ実施
2000	大連	第 9 回北九州市民交流訪中団派遣
	タコマ	ホームステイ「アメリカ体験ツアー」実施
2001	仁川	親子で楽しむ姉妹都市交流～韓国・仁川 2 泊 3 日
2002	タコマ	高校野球チーム受入れ、スタディツアー「米国に学ぶシニア・ライフ」実施
	大連	第 10 回北九州市民交流訪中団派遣［日中国交正常化 30 周年記念事業］
2003	ノーフォーク	米国姉妹都市研修実施、オールド・ドミニオン大学ホームステイ
	仁川	青少年国際交流団受入れ、日韓共同未来プロジェクト青少年交流派遣、日本語研修員ホームステイ（春・秋）
2004	タコマ	《姉妹都市提携 45 周年記念事業》タコマ市記念式典出席（経済文化局長ほか）、訪問団（タコマ市長ほか） の受入れ、青少年親善大使派遣
	ノーフォーク	《姉妹都市提携 45 周年記念事業》マーメイド像受贈式開催 「国際文化青少年会議」青少年受入れ
	大連	《友好都市提携 25 周年》大連市民友好交流団受入れ（大連市民約 100 名）、大連市への市民訪問団派遣 （北九州市民約 200 名）、大連雑技団北九州公演（市民 2,400 名観覧）
	仁川	「国際文化青少年会議」青少年受入れ、青少年親善大使派遣
2005	タコマ	高校野球チーム受入れ
	ノーフォーク	「国際平和を考える」青少年派遣
	仁川	《日韓友情記念事業》「E（イ・イ）交流」派遣、「日韓青少年歌合戦」青少年受入れ

実施年	都市名	事業名
2006	ノーフォーク	バージニア州立芸術学校によるミュージカル公演開催・ホームステイ
	大連	北九州市―大連間チャーター便での市民の相互派遣事業実施
	仁川	青少年交流団派遣
2007	タコマ	タコマコミュニティカレッジ内日本庭園完成式典出席（市長ほか）
	ノーフォーク	世界青少年サミット参加に係る青少年派遣
	大連	大連市「大連市・ジャパンウィーク」参加（市長）
	仁川	青少年交流団受入れ
2008	仁川	《青少年相互派遣事業》青少年派遣
2009	タコマ	《姉妹都市提携 50 周年記念事業》訪問団（市長、議長ほか）派遣、 訪問団（タコマ市長ほか）・高校野球チーム受入れ
	ノーフォーク	《姉妹都市提携 50 周年記念事業》訪問団（市長、議長ほか）派遣、訪問団（ノーフォーク市長ほか）受入れ、 バージニア州立芸術学校によるミュージカル公演開催・ホームステイ
	ハイフォン	「友好・協力協定」締結
	仁川	《青少年相互派遣事業》青少年受入れ
2010	ノーフォーク	青少年交流団受入れ
	仁川	《青少年相互派遣事業》青少年派遣、1day 仁川語学交流会・ホームビジット受入れ（仁川市民交流団）
2011	大連	「北九州市水ビジネスセミナー」、「展示商談会」開催のため大連市訪問 （副市長ほか、「北九州海外水ビジネス推進協議会」会員約 70 名）
2012	ノーフォーク	青少年交流プログラム派遣
	大連	大連青少年芸術祭に北九州市立大学生派遣（よさこいサークル 13 名）
2013	ノーフォーク	《北九州市制 50 周年記念》バージニア州立芸術学校によるミュージカル公演の開催
	仁川	《姉妹都市提携 25 周年記念セレモニー》青少年交流団の受入れ、仁川広域市マラソン同好会の北九州マラソン参加
2014	タコマ	《姉妹都市提携 55 周年記念事業》タコマ・ガーデニングプロジェクト （タコマ市のポイント・ディファイアンス・パーク内日本庭園の設計協力）に係る専門家派遣
	ノーフォーク	《姉妹都市提携 55 周年記念事業》青少年交流団派遣
	大連	《友好都市連携 35 周年》大連市旅行団来北
	仁川	《青少年交流団派遣》仁川アジアゲーム PR 団受入れ、仁川広域市マラソン同好会の北九州マラソン参加
	ハイフォン	「北九州市（日本国）とハイフォン市人民委員会（ベトナム社会主義共和国）による姉妹都市友好協力関係に 関する協定」締結
2015	ノーフォーク	青少年交流団の受入れ
	大連	北九州空港－大連周水子国際空港チャーター便初便によるミッション団派遣、大連市訪問（副市長）
	仁川	《青少年交流団受入れ》仁川広域市マラソン同好会の北九州マラソン参加
	ハイフォン	北九州市訪問団（行政関係者、市内企業、北九大よさこいチーム「灯炎」）派遣、解放 60 周年記念式典参加、 記念式典の「火炎樹祭」ステージに「灯炎」出演
2016	大連	大連市少年宮訪日代表団（小倉中央小学校に 32 名）来北、日中韓友好都市市民卓球大会に北九州卓球協会所属 市民 7 名派遣、北九州空港－大連周水子国際空港国際定期便初便で訪問団派遣、副市長他の大連市訪問
	仁川	《青少年交流団派遣》仁川広域市マラソン同好会が北九州マラソン参加
	プノンペン	プノンペン都と姉妹都市協定締結
2017	ノーフォーク	バージニア州立芸術学校によるミュージカル公演開催
	大連	「2017 年　北九州市・大連市友好演唱会」参加のため大連市訪問（市民 30 名）、大連市へ交流派遣 （小倉中央小学校児童 16 名） 北九州無法松ツーデーマーチ参加（大連市民 53 名）
	仁川	《仁川青少年交流プログラム訪問団受入れ》「仁川市民の日」訪問団派遣、仁川広域市マラソン同好会の 北九州マラソン参加
	ハイフォン	小倉南看護専門学校よさこいチーム「侍」派遣・「火炎樹祭」ステージ出演
	プノンペン	「絆フェスティバル」参加
2018	大連	定期便や北九州都市圏域 PR のため大連市を訪問（北九州市長を団長とする北九州都市圏域首長級 10 市町）、 市制 55 周年記念「北九州市・大連市合唱交流演奏会」参加のため来北（「大連市平安合唱団（団員 31 名＋ 随行 3 名）」）、大連外国語大学との交流協定締結 30 周年「記念シンポジウム」開催
	仁川	《姉妹都市提携 30 周年記念事業》仁川市英語村派遣研修訪問、「わっしょい百万夏まつり」仁川市立舞踊団受入れ
	プノンペン	プノンペン都産業人材育成研修団受入れ
2019	タコマ	《姉妹都市提携 60 周年記念事業》代表団（タコマ市長ほか）受入れ、タコマ・ジャズウィーク開催、 代表団（市長、議長ほか）派遣、音楽交流派遣
	ノーフォーク	《姉妹都市提携 60 周年記念事業》代表団（市長、議長ほか）派遣、代表者（市議会議員）受入れ、 青少年交流団派遣、バージニア州立芸術学校によるミュージカル公演開催
	大連	《友好都市提携 40 周年・就航記念事業》北九州空港－大連周水子国際空港の国際定期便で北九州市代表団 大連市訪問（市長・議長・北九州商工会議所（理事・事務局長））、クルーズ船「チャイニーズタイシャン」 で来北（大連市民約 900 名）、大連市第 44 中学サッカー代表団来北（選手 16 名＋引率 4 名）し北九州市 選抜チームと交流試合開催 北九州無法松ツーデーマーチ参加（大連市中日友好協会訪問団 27 名）
	ハイフォン	《姉妹都市提携 5 周年記念事業》北九州訪問団（行政団＋日本舞踊藤間流「裕志朗の会」）派遣、 「ハイフォン市－北九州市文化交流会」参加・現地チャンフー高校に日本語の書籍寄贈、ハイフォン市訪問団 （行政団＋ドラゴンダンスチーム）受入れ、わっしょい百万夏まつりパレード等に参加し、ベトナム伝統芸能 ドラゴンダンス披露
	プノンペン	産業人材育成研修団受入れ

賛助会員（2020年3月末現在）

賛助会員を随時募集しております。
協会の事業にご賛同いただける方はぜひご協力のほど、お願いいたします。

■ 年会費

個人：１口　　2,000円 / 1年度
団体：１口　20,000円 / 1年度

※公益財団法人への寄付は、寄付金控除の税制優遇措置の対象になります
（原則、2,000円を超える寄付金額が控除の対象です）

■ 会員特典

・協会主催行事の参加費が割引になります
・図書の貸出ができます
・提携旅行会社で割引が受けられます
・世界民族衣装の利用ができます（要クリーニング代）
・国旗、卓上旗が無料で利用できます

■ 賛助会員の状況

個人会員：108名
法人会員：12団体

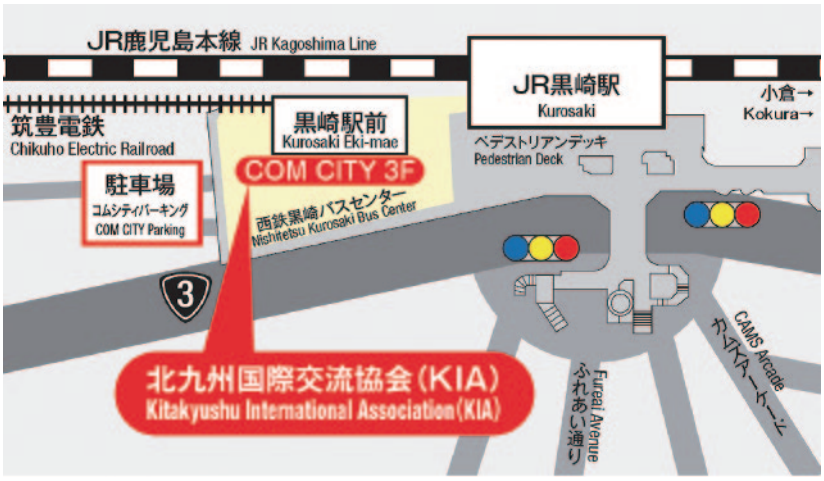
（五十音順）

法　人　名
・学校法人 西南女学院
・学校法人 福原学園
・株式会社 タカギ
・株式会社 西日本シティ銀行 北九州総本部
・株式会社 福岡銀行 北九州本部
・株式会社 リーガロイヤルホテル小倉
・公益財団法人 芳賀文化財団
・西部ガス株式会社 北九州総務部
・第一交通産業株式会社
・太平ビルサービス株式会社 北九州支店
・日本製鉄株式会社 九州製鉄所
・吉川工業株式会社

KIA30周年記念誌　2020年12月　発行

公益財団法人 北九州国際交流協会
Kitakyushu International Association

〒806-0021
福岡県北九州市八幡西区黒崎3-15-3
コムシティ3階
TEL:093-643-5931
FAX:093-643-6466
Email:kia@kitaq-koryu.jp
HP:https://www.kitaq-koryu.jp
【開館日】
月曜日～土曜日（年末年始・祝日を除く）
9:00～17:30



KITAKYUSHU
INTERNATIONAL ASSOCIATION